

令和8年度

名古屋大学大学院情報学研究科
社会情報学専攻
入学試験問題（専門）

令和7年8月6日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 試験終了まで退出できない。
3. 日本語または英語で解答すること。
4. 問題冊子、解答用紙2枚、草稿用紙1枚が配布されていることを確認すること。
5. 問題は「現代社会における哲学的諸問題」、「哲学基礎」、「社会情報学の諸問題」、「環境考古学」、「文化財科学」、「情報社会システム」、「メディア・コミュニケーション研究」、「国際関係論」の8科目がある。このうち2科目を選択して解答すること。なお、選択した科目名を解答用紙の指定欄に記入すること。
6. 全ての解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。解答用紙に受験者の氏名を記入してはならない。
7. 解答用紙に書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。ただし、裏面を使用した場合は、その旨、解答用紙表面右下に明記すること。
8. 解答用紙は試験終了後に2枚とも提出すること。
9. 問題冊子、草稿用紙は試験終了後に持ち帰ること。

現代社会における哲学的諸問題

以下の(1)と(2)から1問を選んで解答しなさい。両方に答えた場合は、採点対象としない。

- (1) 人工知能やロボットなどのように自律的に動作する人工物については、それが事故を起こして人間に危害を与えたときに責任を取るべき人間が存在しなくなるという「責任の空白」の問題が指摘されている。「責任」がどのような条件のもとで生じるかについて説明し、そのうえで責任の空白の問題について自分の考えを述べてください。
- (2) 認識論には知識一般についての問題に取り組む分野もあるが、特定の種類の知識や個別分野における知識についての問題に取り組む分野もある。後者のローカルな認識論の分野を1つ取り上げ、それがどのような分野なのか、どのような問題がその中に存在するのかを記述してください。そのうえで、それらの問題の解決や解消に向けた自分の考えを述べてください。

哲学基礎

次の(1)～(12)の項目のなかから4つを選んで、それぞれを300字程度で説明しなさい。5つ以上を選んだ場合は、採点対象としない。

- (1) 論理主義(logicism)
- (2) 描写(depiction)と記述(description)
- (3) 道徳的表出主義(moral expressivism)
- (4) コギト(cogito)
- (5) ～のうちに見ること(seeing in)
- (6) (科学における) 過小決定(underdetermination)
- (7) 真理の対応説(the correspondence theory of truth)
- (8) ごっこ(make-believe)説
- (9) (認識論における) 鋭敏性原理(the sensitivity principle)
- (10) メタ倫理学(meta-ethics)
- (11) 類似(resemblance)説
- (12) 道具的価値(instrumental value)

社会情報学の諸問題

次の問1から問3のうち、1つを選び解答しなさい。2つ以上解答した場合は、採点の対象にしない。

問1

(1) インターネットの出現前から、人同士のつながり方、つながりの集合体であるコミュニティーはさまざまな表現で形容されてきた。インターネットが登場、普及すると、従来のコミュニティーのかたちと異なる特徴が指摘されるようになっていく。以下の点について、それぞれの特徴を説明しなさい。解答にあたっては、1つにつき、4から5行程度で解答しなさい。

- ①情報縁
- ②匿名性
- ③変容性
- ④同質性
- ⑤身体化

(2) 現在のインターネット上のコミュニティーが、今後どのように変化していくかを、あなたの視点から、いくつかのポイントを挙げながら、自由に論じなさい。解答する際には、それを説明するのに適した事例、用語を含めることも留意しなさい。

問 2

以下の2つの問い(1)(2)のうち1つを選択し答えなさい。2つ以上を解答した場合は採点しない。

(1) 令和6年10月に発足した石破政権が掲げる最重要課題の1つに「地方創生2.0」の起動がある。これまでの東京一極集中の現状に対処し、地方創生をさらに加速させる本施策は基本構想として5本柱が設定され、その1つに「デジタル・新技術の徹底活用」が明記されている。これからの新しい経済・生活環境を創生してゆく上で、デジタル・新技術の具体例をあげつつ、それらをどのように活用することで今後の地方創生を推進すべきかについて、具体的に説明しなさい。

(2) 令和4年、約70年ぶりに改正された改正博物館法では、博物館の事業に「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」が追加された。この電磁的記録とはいわゆる「デジタルアーカイブ」を指す。デジタルアーカイブを作成・公開することの意義や目的について述べるとともに、それらを活用したサービスもしくは社会的取組みの案を構想し、具体的に説明しなさい。

問3

メディアアートは、「変わっていく技術に対して敏感に働きかける感性」と特徴づけられることがある。これに関して、次の(1)から(3)すべてに答えなさい。

- (1) この特徴づけは、どのような意味で述べられているのか、説明しなさい。
- (2) 現在の社会で「変わっていく技術」を代表するのがAI（人工知能）技術であることは、多くの人々が認めるだろう。では、AIを念頭に置いた場合、メディアアートはそれに対してどのように「敏感に働きかけ」ているだろうか。AIに関わるアート作品から具体例をあげて説明しなさい。
- (3) メディアアートに関するこのような特徴づけに対するあなたの考えを述べなさい。

環境考古学

「貝塚」からは、その名称通りに貝類が多量に出土する。

[1] 貝類以外に出土する資料を4種類あげなさい。なお、貝塚の所属年代は問わない。

[2] 出土する貝類は主に食料として利用されたと考えられるが、貝類には食料以外の利用方法もある。食料以外の利用方法の中から2つをとりあげて、具体的に説明しなさい。図を用いてもよい。なお、貝類の所属年代は問わない。

文化財科学

遺跡で出土する動物骨（人骨を含む）からその動物の大きさ（身長・体高）を復元するにはどうしたらいいですか。また、復元することで何がわかりますか。

情報社会システム

以下の問題を2問とも解答しなさい。

(1) 以下の、情報通信技術 (ICT: Information and Communication Technology)

に関連する用語すべてについて簡潔に説明しなさい。

1. BPR (Business Process Re-engineering)
2. 観光 DMP (Data Management Platform)
3. BI ダッシュボード (Business Intelligence Dashboard)
4. プロンプトエンジニアリング (Prompt Engineering)
5. 教育データ標準化

(2) デジタル庁では、デジタル社会の実現に向け「デジタル社会推進標準ガイド

ライン」を策定している。2025年5月には、「行政の進化と革新のための生成 AI の調達・利活用に係るガイドライン」が策定され、行政分野における生成 AI の積極的な導入と社会課題の解決が期待されている。次の地域課題のうち、いずれか1つを選び、生成 AI の利活用がどのようにその課題の解決に貢献できるかについて、具体的に論じなさい。

【地域課題】

人口減少／少子高齢化／地域経済の衰退／東京一極集中／人材不足／デジタルデバイド／オーバーツーリズム

メディア・コミュニケーション研究

以下の大問(1)～(3)のうち、一つを選んで解答しなさい。二つ以上の大問を解答した場合は採点しない。解答の際には、(1)～(3)のうち、どの大問を選んだか明示すること。

(1) コミュニケーションの二段階の流れモデル (two-step flow of communication model) について、次の二つの小問すべてに答えなさい。

①このモデルの意味を説明しなさい。

②これは、今日においても分析モデルとして有用と考えられるか。あなたの立場を明らかにしたうえで、必要に応じて具体的な事例を挙げながら、自由に論じなさい。

(2) メディア・フレーム (media frame) について、次の問いに答えなさい。

①この概念の意味を簡潔に説明しなさい。

②伝統的メディアのフレーミングについて、様々な批判がある。それらについて、必要に応じて具体的事例を挙げながら説明しなさい。

(3) ニュースバリュー (news value) について、次の二つの小問すべてに答えなさい。

①ニュースバリューは、ジャーナリストが何をするために用いられるか。簡潔に述べなさい。

②マス・メディア組織に属するジャーナリストがいただいているニュースバリューとして何が挙げられるとこれまでの研究は論じているか。主なものを複数挙げ、それぞれの内容を説明しなさい。

国際関係論

以下の大問(1)～(3)のうち、一つを選んで解答しなさい。二つ以上の大問を解答した場合は採点しない。解答の際には、(1)～(3)のうち、どの大問を選んだか明示すること。

(1) いわゆるフェイクニュース (fake news) について、次の二つの小問すべてに答えなさい。

①フェイクニュースが、どんな害を生んできたかを、必要に応じて事例を挙げながら説明しなさい。

②フェイクニュースに関してとられてきた対策について、その問題点・課題も含めて論じなさい。

(2) ラジオは、1920年代に家庭への普及が進むと、1945年の第二次世界大戦終結に至るまで、欧米諸国では活発にプロパガンダの手段として利用されていた。その使用の仕方を説明しなさい。

(3) オンライン化が進む社会の中であっても、行政の窓口につつま担当者の能力、判断、機転により政策実施がより円滑に進むことは起こりえる。このように、市民と行政、公共サービスの受給者や規制対象になる企業などと直接に関わる現場を想定すると、「第一線職員」が注目されやすい。では、「第一線職員」に関連して、以下の二問について、解答しなさい。

①「第一線職員」の意味とそのような職員をかかえる第一線官僚制の特徴を説明しなさい。

②「第一線職員のアレンマ」とは、どのような状態を指すかを説明しなさい。
解答にあたっては、「公共サービスのアレンマ」、「裁量」、「ルーティン」という語句を含めること。